

# ぼらっと

『ぼらっと』とは「ぶらりと」気軽に、「ボランティア」しましょう!!という造語です。

[第44号]

2013/6/27



発行元

〒020-0541 栗石町千刈田82-2

栗石町総合福祉センター内

栗石町社会福祉協議会ボランティア活動センター

電話/692-2230 FAX/691-1140

e-mail/shizukuishi-vc@shisha.or.jp

http://www.shisha.or.jp/

社協のBlogもチェックしてネ!

## 栗石町ふれあいサロンスタッフ研修会

六月六日(木)、町内にあるふれあいサロンのスタッフを対象に研修会が開かれました。行先は、津波で甚大な被害を受けた宮古市田老でした。



午前八時、栗石町総合福祉センターをマイクロバス二台で出発。車内では、話に花が咲き、宮古街道、最初の休憩場所「道の駅・やまびこ館」へと軽快に進みました。休憩後、バスは宮古市内に入り、町の中心から十分ほどの高台にある最初の研修地「グリーンピア三陸みやこ」の敷地内に併設された「たろちゃん

ハウス」(3棟2階建ての仮設店舗)を見学。バスを降りるとやませの影響で二十度弱の気温となり、皆栗石との違いを感じていらっしやいました。三棟の建物を行き来し、地元の店舗の復興のため、買い物での支援を行いました。

次に、「グリーンピア三陸みやこ」では、昼食をとりながら、自分達のサロンの話や趣味の事など交流を深めていただきました。

午後の研修は、東日本大震災で甚大な被害を受けた宮古市田老での「学ぶ防災」。被害を受けた田老地



区の様子を、防潮堤の上で地元のガイドの方から説明していただきました。ガイドの方は、「田老地区は、防災訓練も常に行い、道路は全て山に向かって行けるように作ってあるし、斜面の道路には手すりが付いていて、本来なら犠牲者を出さない地区です。最初の防災無線で三メートルの津波としか情報が入らなかつたのと、防波堤で津波の様子が分からなかつたのと、危機感をあまり持たない人がいたから・・・。残念な事になってしまつた。」と話していました。

その後、場所を被害にあった「たろちゃん観光ホテル」に移し、被害を受けなかつた部屋で、ホテルの松本社長撮影の映像を見ながら説明していただきました。

サロンのスタッフの皆さんは、「自分たちは大丈夫、自分の住んでいる所は大丈夫などと思っていたが、常に防災に対しての意識を持って、自宅での備えを確認し、訓練に参加するなど、家族、ふれあいサロンでも、もう一度話し合わなくてはいけないね。」と確認し合い、バスに乗車しました。



サロンのスタッフ同士交流を深めあい、実際に、被災地に赴き、被災地の現状見聞きする貴重な機会となりました。



# ふれあいサロン ひまわり



五月三十一日(金)、赤い風車でふれあいサロン「ひまわり」のさなぶりが開かれました。「ひまわり」は、平成十七年にスタート。会員さんは、「今日は、美味しいお昼を食べてお風呂に入り、皆さんとおしゃべりするのが楽しみ。」とのこと。リラックステイル雰囲気の中進められました。輪投げ、ゲートボール、雑巾縫いなど、月一回色々な活動をしています。



## 赤い羽根共同募金 福祉のまちづくり支援事業

ふれあいの福袋、輪投げをまわっています。

岩手県共同募金会では、住民参加による福祉コミュニティづくりの推進を目的に、「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」事業を支援するための助成事業を募集しました。助成の対象となる団体は、地域の福祉向上を目的に活動する県内のボランティア・NPO団体、町内会、自治会等の任意の住民グループです。今年度は、ふれあいサロン横欠が助成申請を行い、輪投げセットを購入しました。さっそく活動をするというので取材に。皆さん、笑顔でいきいきと取り組んでいます。

## ♪ # うたの会

五月十五日(水)、ボランティア団体「ラ・フランスの会」へ突撃訪問してきました。この日は、ダンスの練習を兼ねたお花見会でした。訪問した時には、ちょうど練習も終わり、自由に入浴したりカラオケをしたりして、くつろいで過ごしていました。そして、皆さんが集まったところで、ダンスを披露していただきました。



突然の訪問にもかかわらず、笑顔で何曲も踊る会員の皆さん。まだまだ、心も体もお元気です。笑い声が絶えず、楽しい会となりました。ラ・フランスの会さんでは、会員を大募集中です。特に、男性会員さんを募集しています。一緒にダンスを楽しみませんか？

五月二十一日(火)、にこトピアおうちゆく館シヨートステイおうちゆくで、ボランティア団体「すみれの会」による大正琴の演奏会がひらかれました。すみれの会の「歌いましょう」の掛け声で歌い始める利用者の方の中には、昔を思い出して涙している方もいました。終盤に近付くにつれ、利用者の方の気持ちが盛り上がり、だんだんと拍手が増え、感情を込めて歌う方も見られました。全8曲演奏後、「とても素晴らしかった。アンコール」の声がかけられました。すみれの会の皆さんは、「今回は、施設の方々に歌詞カードを配ってもらえたので、利用者の方にも一緒に歌ってもらい、とてもありがたく、楽しく演奏することができた」とおっしゃっていました。



サロンの方からは、「台数が増えたので、待ち時間が短くなりたくさん投げられる」との喜びの声があげられました。各自、練習して肩慣らしをした後、点数をつけて腕試し。じわりと汗がにじむくらい、活発に活動がなされていました。



## 復興支援ボランティア募集中!

当社会福祉協議会では、陸前高田市で側溝の泥出しや宅地跡の草刈り等を行うボランティアを、まだ、若干名募集しています。

【日時】七月五日(金)・六日(土)  
【応募条件】心身ともに健康で、ボランティア保険天災タイプにご加入の方。

【参加負担金】五百円  
【申し込み・問い合わせ】  
019-699212230

## あいがたうたいです。

また、当社会福祉協議会では、被災地に向いての活動はできないけれど、復興支援ボランティアの活動

を支援したいという方からの活動資金をあわせて募集しました。活動にご賛同頂き、ボランティアの皆さんへ役立てて下さいと、ご支援いただきましたので、ご紹介します。

### ★支援金★

藤原 恒子 様  
(六区)

ご支援に感謝申し上げます。ありがとうございました。



## 編集後記

ぼらっと四十三号では、脱字がありました。今後は、そのようなことがないように、気を付けてまいりたいと思います。暑い日が続いています。熱中症に気を付けて活動してください。(武田)

